

生きがい通信

No.198

公益社団法人 習志野市シルバー人材センター

習志野市屋敷4-6-6 東部保健福祉センター内

TEL493-8011 FAX493-8040

URL:<http://www.sjc.ne.jp/narashino/> E-mail:narashino@sjc.ne.jp

令和6年9月30日現在

会員数:789名

男性621名 女性166名

未回答 2名

シルバーフェア

芙蓉園文化祭同時開催

令和6年10月3日(金)・4日(土)

シニア歌声広場



ファッションショーの様子



バザー会場



私のふるさと紹介

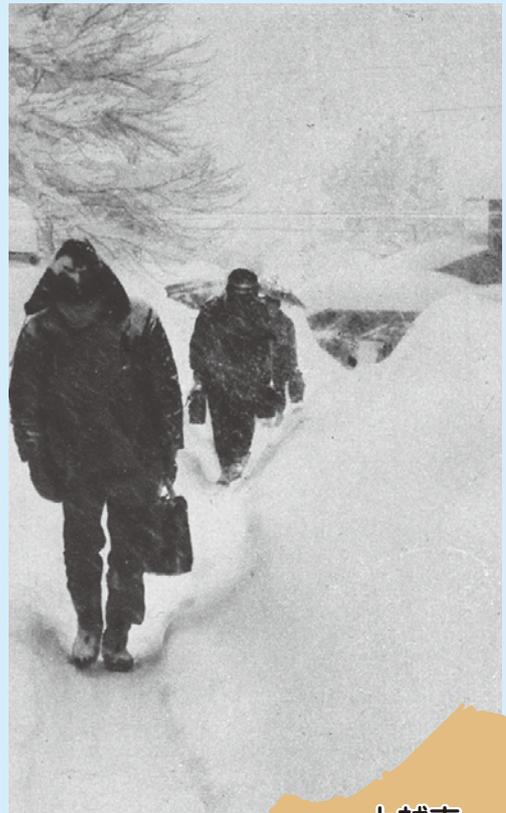
秋津・香澄地区 佐竹 正実

―新潟県・上越市―

私の故郷は上越市で新潟県の南西部になります。平成の大合併で大きくなりましたが、私の生まれたところは高田市で、1971年に直江津市と合併して上越市になりました。ということで今回紹介するのは旧高田・直江津地区となります。

江戸時代、「この下に高田あり」と高札が立てられたほどの豪雪地帯でしたので、冬期でも人々が往來できるように家の前に張り出した庇「雁木」が総延長15kmを超えて連なっています。ちなみに私の実家にも雁木があります。雁木は皆で少しずつ私有地・私有物を供出して生活の便をはかった雪国の知恵といえると思います。

雪に関連して金谷山かなやさんという裏山



▲ 雪の朝の通学
(卒業アルバムから)

上越市

に日本スキー発祥の碑があります。明治44年にオーストリアハンガリー帝国軍人のレルヒ少佐が当時の高田にあった歩兵13師団の軍人にスキーの技術を教えたこととです。日本のスキーの始まりは雪国の軍事技術だったのですね。

上越市のある頸城平野は日本有数のコメどころでもあり、酒の美味しいところでもあります。私のお勧めは日本酒「雪中梅」、ワイン「岩の原ワイン深雪花」です。最近はお隣の妙高市の新井ビールを加えて酒蔵巡りの「越後バツカス街

道」として喧伝されています。車で行くときは下戸の方を運転手に加えてください。

観光としておすすめなのは高田城址公園で4月中旬に開催される観桜会です。特に夜桜は三大夜桜のひとつとか。この時期に行かれた方は上杉謙信の居城として有名な春日山城址に足を延ばすことをお勧めします。山頂からは雪の妙高山、日本海のむこうに佐渡島を見ることができ、足元には可憐なカタクリの花をみることもできます。

一寸した自慢話(?)を一つして

終わります。私の卒業した高田高校は旧制高田中学の時代から数えて今年、150周年を迎えます。全国でも名前が変わることなく150年を迎えるのは珍しいとのこと。そして、戦後の学制改革の時代に奮闘された名校長・小和田毅夫氏のお孫さんが現皇后の雅子様になります。



▲ 城址公園の夜桜

健康増進 イベント



令和6年7月23日(火)午前10時～午後4時、イトーヨーカ堂津田沼店様のご協力(6Fイベントスペース提供)のもと、株式会社カーブスジャパンと連携して健康増進イベントを開催いたしました。このイベントは、センターの事業計画に基づくもので、昨年度に続いて実施しました。

昨年度は会員のみを対象といたしました。今年度は一般の方々も対象とさせていただき、20名の市民の方に参加いただきました。

◆来場者の声

チラシをみて参加されたというご夫婦、楽しそうに『健康チェック』をされていました。

○日頃から家庭菜園をして、身体を動かしていたご主人が、「自分は



こんなものかな」と、思っていたとおりの結果だったそうです。

○奥様はちょっとシヨクシヨクな結果だったそうです。運動不足を感じ「早速何かを始めないと…」とおっしゃっていました。

○このイベントは町かどの掲示板をみて知りました。十数年前に心筋梗塞になり、健康に気をつけるようになりました。毎日30～40分の散歩をしたり、食事に気をつけたり、家にこもらないよう機会を見つけては、外に出たりして、普段から努力をしています。

○普段は、体操教室に行っています。このような催し物があると、気軽に参加してみようと思っています。

(取材後記)

今の自分を維持していく為に、からだの中をチェック！ 時間が出来たからからこそ、健康の為に少しの意欲とお金と時間を使って、自分らしく生きていけるように！

担当：広報部会 正化、吉澤



行事予定

入会説明会(定例月3回)

毎月第2・第3水曜日
午前9時30分～
毎月第2金曜日
午後1時30分～
シルバー人材センター会議室

出張入会説明会(不定期)

令和6年11月12日(火)
午後2時～
『プラッツ習志野北館1階集会室3』
令和6年12月19日(木)
午後2時～
『谷津公民館2階研修室』

就業相談(予約制、会員限定)

毎月第2・第3水曜日
午後1時～(30分単位)
シルバー人材センター会議室

刃物研ぎ作業

毎月5日、12日、20日 午前9時～
袖ヶ浦作業所
毎月第4木曜日 午前9時～
シルバー人材センター会議室

事務局営業日(年末年始)

仕事納め 令和6年12月27日(金)
仕事始め 令和7年1月6日(月)

※大型連休となりますので、お手数をおかけいたします。

(事務局)

編集後記

市制70周年を迎え習志野市は将来どんな街になるのでしょうか。

人口17万5千人の文教都市憲章の、

- ・青い空と、つややかな緑をまもる
- ・若さを失わない
- ・暖かい生活環境を整え
- ・住みよいまち
- ・教育に力をそそぎ
- ・すぐれた文化をはくくむ調和のとれたまち

このまちづくりで重要なすき間作業に、これまで以上にシルバー世代が一役買うことになるのではと考えます。

イメージとして、例えばわが子を就職させたい会社あるいは仕事を考えるのと同じように、住居地として習志野市を自信を持って勤めることができるかでしょう。筆者の観点ですが、習志野市は3S(ステーション・駅、ショッピング・商業施設、スクール・学校)を軸に1H(ホスピタル・病院)、1G(グリーン・自然)、1S(セフティ・安心)が整えられつつあると考えます。市民それぞれが自分のライフスタイルにマッチさせ優先順位をその都度組み替えて豊かな生活を長く楽しむことができる街だと言えるでしょう。それに志を高くして寄与できるのはシルバー世代で、センターにはそのステージが用意されています。

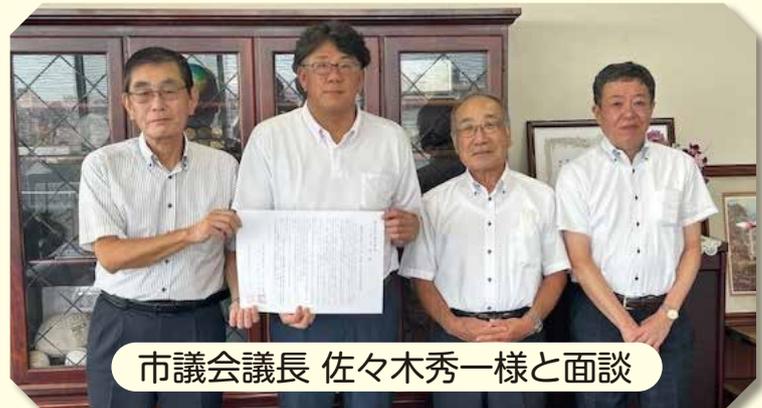
広報部会

支援要望活動

令和6年9月19日(木)、行方会長、市村副会長、内海常務理事が習志野市長宮本泰介様、市議会議長佐々木秀一様と面談し、公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会からの【決議文】を基に「シルバー人材センターへの支援要望活動」を行いました。



習志野市長 宮本泰介様と面談



市議会議長 佐々木秀一様と面談